

(報告)

府立高校改革について

府立高校の在り方に係る検討状況について、下記のとおり報告します。

平成29年11月10日

教育長 橋本 幸三

記

1 新しいスタイルの高校の新設（丹後地域）（案）

丹後地域において、自分のペースで「自立心・主体性」を身につけることができる新しいスタイルの高校を新たに設置することとしたい。

【新設高校の概要（予定）】

- ・時 期…平成32年4月開校（平成31年9月設置）
- ・場 所…峰山高校弥栄分校校地を活用
- ・募集定員…90名程度
- ・教育内容…単位制による昼間定時制（4年または3年での卒業が可能）、総合学科
宮津高校伊根分校（昼間定時制：普通科）、峰山高校弥栄分校（全日制：農園芸科・家政科）、網野高校間人分校（昼間定時制：普通科）の教育実践を融合、発展

2 北桑田高校及び須知高校の在り方（口丹地域）

近年、特に生徒募集が厳しい状況にある北桑田高校及び須知高校について個別検討会議をそれぞれ計4回開催し、地元関係者からご意見をいただいた。

今後、「口丹地域における府立高校の在り方懇話会」を開催し、口丹全体として議論いただいた上で年度内に在り方の方向性を決定する。

＜北桑田高校に関していただいた主な意見＞

- ・京都市、乙訓通学圏の生徒も普通科を志願できるようにしてほしい。
- ・存続に向け地域として積極的に支援する。
- ・寮の増設や交通手段の確保など他の地域から通学しやすい環境整備が必要
- ・特色ある部活動について、他府県等から生徒募集ができるようにしてほしい。
- ・美山分校の果たす役割は重要だが、場所については口丹全体で議論が必要

＜須知高校に関していただいた主な意見＞

- ・京丹波町と連携した「食」に重点化した教育内容の充実が必要である。
- ・調理師免許を取得できる学科を新設してほしい。
- ・寮の増設や交通手段の確保など他の地域から通学しやすい環境整備が必要
- ・特色ある部活動について、他府県等から生徒募集ができるようにしてほしい。